

いしかわ医療的ケア児支援センター「このこの」主催

医療的ケアが必要な子どもと その"きょうだい児"の語り



重い病気や障がいを持った子どもの兄弟姉妹のことを「きょうだい児」と言います。

親の手が病児や障がい児に取られがちだったり、周りの視線を感じてしまったりするきょうだい児は、生きづらさを抱えやすい存在であることが近年知られるようになってきました。

病児・障がい児ときょうだい児、みんな大切な子どもたちですが、本人がどう感じているのかは人それぞれ。今回は、医療的ケアを必要とする重度障がい児者のきょうだい児やご家族から、それぞれの経験を通してのお話を伺います。

日程

3月25日（土） 13:30～15:30

会場

石川県地場産業振興センター 本館 第2研修室
金沢市鞍月2丁目1番地

参加方法

会場参加 もしくは オンライン配信
下のQRコードを読み込み、専用フォームよりお申込みください

参加
無料

プログラム

「兄と暮らして見えたこと」
僕の障がい観

演者
永井 太郎 さん



私の歩みとこれから

演者
金谷 萌子 さん



「父がおもう
我が家の楽しみ」

演者
高松 昌一郎 さん



お申込みは
こちらから

申込×切
3月20日(月)



お問合せ

石川県 健康福祉部 障害保健福祉課
石川県金沢市鞍月1丁目1番地
電話：076-225-1428
メール：shofuku2@pref.ishikawa.lg.jp
(担当：山田)

主催

いしかわ
医療的ケア児
支援センター

